



唐鎌 直義 KARAKAMA Naoyoshi

職名	特任教授
担当科目	社会保障論Ⅰ・Ⅱ、ケア財源・負担論、経済学
学歴	静岡大学人文学部法律経済学科経済学専攻卒業 中央大学大学院経済学研究科博士後期課程満期退学
学位	修士(経済学)
主な職歴	長野大学産業社会学部助教授、大正大学人間学部教授、専修大学経済学部教授、立命館大学産業社会学部教授 非常勤講師歴(獨協大学経済学部、日本社会事業大学、中央大学経済学部、東洋大学経済学部、日本女子大学人間福祉学部、大阪市立大学大学院法学研究科、佛教大学)
研究分野／Key word	社会保障の日英比較、国民生活研究 現代の貧困、低所得・不安定階層、失業・半失業、福祉の普遍化、所得再分配、平等
主要著書・学術論文	<ol style="list-style-type: none">『「健康で文化的な生活」をすべての人に』(共著、自治体研究社、2022年)『社会保障運動入門』(共著、学習の友社、2021年)『ここまで進んだ! 格差と貧困』(共著、新日本出版社、2016年)『脱貧困の社会保障』(単著、旬報社、2012年)『日本の高齢者は本当にゆたかか』(単著、萌文社、2002年)「日本の高齢者福祉施策の問題点—欧州との比較から—」『人権と部落問題』11月号、部落問題研究所、2022年)「高齢者の貧困と社会保障緊縮政策」『前衛』7月号、日本共産党中央委員会、2022年)「日本の社会保障の驚くべき低位性と後進性—先進6カ国との比較から—」民医連医療、5月号、全日本民主医療機関連合会、2022年)「すべての人に最低生活保障を—全世代型社会保障—」(『経済』4月号 No. 319、新日本出版社、2022年)「コロナ禍とこれからの日本の社会保障」(『月刊 保険診療』第75巻 第11号、医学通信社、2020年)「コロナ対策にみる公衆衛生の現状と弱者切り捨て社会」(『経済』9月号 No.300、新日本出版社、2020年)「新型コロナ・パンデミックが暴いた『就労自立社会』の矛盾」(『実践自治 Beacon Authority 2020夏号 第82巻、イマジン出版、2020年)「増え続ける貧困高齢者とその対策」(『実験医療・増刊 総力戦で挑む老化・長寿研究』第35巻 第203号、羊土社、2018年)
所属学会	社会政策学会、経済統計学会

- 主な社会貢献活動**
1. 東京都葛飾区介護保険事業審議会副会長(現職、1998年から委員)
 2. 群馬県館林市男女共同参画審議会委員(2005年度～、2017年度まで会長)
 3. 労働総研理事(2002年～)
 4. 総合社会福祉研究所理事(2007年～)
 5. 全日本年金者組合第3次最低保障年金制度案策定委員長(2017年～2018年)
 6. 全国年金減額違憲訴訟意見書提出(2018年、東京地裁)、原告側証人喚問(2019年5月、大阪地裁、2021年10月、和歌山地裁)

**出前授業
テーマ**

E-mail n-karakama@saku.ac.jp